

学校教育だより

令和3年 4月30日

第17号

発行 厚沢部町教育委員会

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

4月6日小中学校で入学式、笑顔で新たな学校生活スタート

4月6日、町内各小・中学校では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、時間や規模を縮小し、入学生とその保護者、教職員の参加のもと行われました。入学生は新たに始まる学校生活への大きな期待と喜びを胸に、笑顔で学校生活をスタートさせました。



鶉小 入学児童4名（男子1名、女子3名）

令和3年度の入学式が、時間を短縮した中で行われました。名前を呼ばれたら元気な声で手を挙げて返事ができました。これからの学校生活に胸を膨らませていました。



館小 入学児童7名（男子3名、女子4名）

7名の1年生を迎えました。ドキドキしながらも堂々と、自分の名前を呼ばれると元気な声で返事ができました。また、校長先生や児童会長のお話を聞く態度も、お辞儀も立派でした。



厚小 入学児童16名（男子10名、女子6名）

入場の際はやや緊張した様子でしたが、担任の先生から名前を呼ばれた時は、元気に大きな声で返事をして起立することができました。



厚中 入学生20名（男子12名、女子8名）

令和3年度の入学式、在校生はリモートによる教室からの参加となりました。式では緊張した様子の新入生ですが、徐々に中学生らしい表情を見せてくれることでしょう。がんばれ、中学1年生！

令和3年度採用・転入教職員 12 名に辞令交付

4月2日（金）、役場2階第1会議室において教職員辞令交付式が行われました。例年であれば、人事異動や採用により新たに厚沢部町に勤務する全ての学校職員に辞令が渡されるのですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、管理職（校長）2名だけの交付となりました。

当日は、鈴木教育長から辞令が渡され、交付後、渋田町長から歓迎と激励の挨拶が転入者へ贈られました。

町長の挨拶の後、館小学校の佐藤校長より『町づくりは人づくり』を掲げる町のため、たくましい人材を育むとともに、個別最適で協働な学びを保障し、誰一人取り残すことのないよう強い使命感をもち、信頼される学校づくりに力を尽くしたい」と、転入者を代表して挨拶されました。

式場に来られなかった転入・採用教職員の辞令書は、各校において学校長から渡されました。令和3年度は、新採用者3名と転入教職員9名が町内各校に着任しました。



小学校35人以下学級 ～令和7年度までに～

国は令和7年度までに、段階的に小学校の全学年で少人数学級の導入を計画しています。

右記の学級編成の変遷にあるように、この度の法改正はおよそ40年ぶりになります。子供の頃を思い出した時に、密どころか過密だった小学校時代という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、法改正は、子供たちの多様化の一層の進展や、新型コロナウイルス感染症の発生等、安全・安心な教育環境の下、ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、学級編成の人数を35人に引き下げ、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな指導の整備を図るためです。

令和3年度、町内小学校の一番多い学年の児童でも20人程であり、法改正の目指すところのきめ細かな指導に、各校これまでも取り組んできたところです。

学級編成	年 代
50人	昭和34～38年
45人	昭和39～53年
40人	昭和55年～

※ 北海道では、道独自に平成23年より小学校1年生の学級は、35人以下としています。